

# 帆走指示書

## 本帆走指示書（SI）における略語表記の意味

- ・【NP】の表記は、艇による抗議の根拠とはならない規則であることを意味する。これは RRS 60.1(a)を変更している。
- ・【SP】の表記は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これは RRS 63.1 及び A5 を変更している。当該委員会はその規則の違反を抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。

## 1 適用規則

- 1.1 本大会は、『セーリング競技規則 2021-2024』（以下 RRS という）に定義された「規則」が適用される。
- 1.2 国際 FJ 級クラス規則 C.5.1(b)(1)について、以下を適用する。  
「電子的時計装置と電子的コンパスは許される。但し、データを相互に関連付けるどのような機能ももってはならない。」
- 1.3 付則 T（調停）が適用される。RRS T1 に基づく「レース後ペナルティー」を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは RRS A10 を変更している。
- 1.4 付則 P を適用する。ただし、RRS P1 文中の『セール番号』は、『セール番号または識別番号』に置き換える。これは RRS P1 を変更している。

## 2 帆走指示書の変更

帆走指示書（以下 SI という）の変更は、それが発効する当日の 09:00 までに掲示される。ただし、レース日程の変更は、発行する前日の 18:00 までに掲示される。

## 3 選手とのコミュニケーション

競技者への通告は、陸上本部に設置された公式掲示板に掲示される。また、監督、引率責任者には、オープンチャットを利用した通知を別途行う。なお、公式掲示板周辺での混雑を避けるため、監督、引率責任者は可能な限りオープンチャットの情報を選手に伝え混雑の緩和に協力すること。

## 4 【DP】行動規範

競技者および支援者は、レース委員会・プロテスト委員会・テクニカル委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

## 5 陸上で発する信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、スロープ横の信号柱に掲揚される。
- 5.2 【DP】【NP】音響 1 声とともに掲揚される D 旗は、「艇は、この信号が発せられるまで指定されたバースを離れてはならない」ことを意味する。また、予告信号は、D 旗掲揚後 30 分より前には発せられない。
- 5.3 予告信号予定時刻の 30 分前までに D 旗が掲揚されない場合、そのレースのスタートは時間に定めなく延期されている。

## 6 レース日程

### 6.1 レース日程

日付	予定レース数	最初のレースの スタート予告信号予定時刻
6月17日(金)	3レース	10:25
6月18日(土)	3レース	09:55
6月19日(日)	1レース	09:55

6.2 各クラス7レースを予定する。各日の予定レース数はSI 6.1のとおりであるが、前日までに、予定されていたレース数が成立しなかった場合は、1レースに限り追加することができる。この場合、SI 2に従い変更が通知される。

6.3 スタートは、基本的に男女420級・男女FJ級(同時)、男女シングルハンダー級の順に行う。ただし、着順については、各クラス男女別に記録される。また、レースの進行上、順番が変わることもある。

6.4 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まる事を艇に注意喚起するために、予告信号を発する5分以前に、音響1声とともにオレンジ色旗を掲揚する。これはRRSレース信号オレンジ旗を変更している。

6.5 レガッタ最終日(6月19日)は、11:00より後に予告信号を発しない。

### 6.6 ブリーフィング

レース日にレース委員会、プロテスト委員会、テクニカル委員会よりアナウンスを行う。選手、監督・コーチは集合せず、聞き取りやすい場所で静聴することとする。また、監督、引率責任者用のオープンチャットにも情報を送るので内容を確認すること。日時は以下の通りとする。

日付	開始時間
6月17日(金)	09:00
6月18日(土)	08:25
6月19日(日)	08:25

## 7 クラス旗

クラス旗は以下のとおりとする。

クラス	旗
男女420級	420旗(白地に青で420)
男女FJ級	FJ旗(白地に赤でFJ)
男女シングルハンダー級	レーザーラジアル級旗(緑地に赤)

## 8 レース海面

「添付図A」にレース海面の位置を示す。

## 9 コース

9.1 「添付図B」に各コースのコース見取り図と「コース・コード(O2、I2、LR2)」、各レグ間のおおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

9.2 予告信号以前に、レース委員会信号艇(以下シグナルボートという)に帆走すべき「コース・コード」と最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

**10 マーク**

- 10.1 マーク 1、2、3S、3P、4S および 4P は ピンク色円筒形ブイとする。
- 10.2 SI 12 に規定される新しいマークは、緑色円筒形ブイである。
- 10.3 スタート・マークはスターボードの端にあるシグナルポートと、ポートの端にあるレース委員会艇とする。
- 10.4 フィニッシュ・マークは、スターボードの端にあるレース委員会艇と、ポートの端にある白色球形ブイである。

**11 スタート**

- 11.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上でオレンジ色旗を掲揚しているポールの間とする。
- 11.2 **【DP】【NP】** 予告信号が発せられていないクラスの艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなければならない。「添付図 C」にスタート・エリアを示す。
- 11.3 スタート信号後 4 分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった (DNS)』と記録される。これは RRS A5.1 と A5.2 を変更している。
- 11.4 レースが再スタートまたは再レースとなった場合に掲示される RRS 30.4 に抵触した艇の識別番号は、次のレースの予告信号前にシグナルポートのスターン掲示板に掲示される。これは、RRS 30.4 を変更している。

**12 コースの次のレグの変更**

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し（またはフィニッシュ・ラインを移動し）、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

**13 フィニッシュ**

フィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるフィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールと、ポートの端のフィニッシュ・マークのコース側との間とする。

**14 ペナルティー方式**

- 14.1 **【SP】** の記された規則に対する標準ペナルティーのリストは、6 月 17 日 8:00 までに掲示される。標準ペナルティーを課された艇は、得点略語「STP」を用いて記録される。これは、RRS A10 を変更している。
- 14.2 標準ペナルティーが課せられた艇のリストは掲示される。
- 14.3 **【DP】** レース公示の規則、クラス規則、RRS 付則 G および RRS77 の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができる。

**15 タイム・リミット、フィニッシュ・ウィンドウ、ターゲット・タイム**

- 15.1 タイム・リミットとフィニッシュ・ウィンドウ、及びターゲット・タイムは、以下のとおりとする。

クラス	タイム・リミット	マーク 1 のタイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
420・FJ	60 分	20 分	15 分	45 分
シングルハンダー	50 分	20 分	15 分	35 分

マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合、レース委員会はレースを中止することができる。これは RRS32.1 を変更している。

- 15.2 ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。

- 15.3 フィニッシュ・ウィンドウは、最初の艇がスタートレコースを帆走してフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでの時間である。フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュできず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティーが課されず、または救済を与えられなかった艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった』(DNF)と記録される。これは RRS 35、A4、A5.1、A5.2 を変更している。

## 16 審問要求

- 16.1 審問要求書は、プロテスト委員会事務局で入手できる。審問要求は、適切な締切時間内にプロテスト委員会事務局に提出されなければならない。
- 16.2 審問要求書の提出締切時刻はその日の当該クラスの最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。この時刻は公式掲示板に掲示される。
- 16.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後約 30 分以内に通告が掲示される。審問は掲示された時刻に始められる。
- 16.4 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会からの抗議を、RRS61.1(b)に基づき艇に伝えるために、抗議の通告を掲示する。

## 17 得点

- 17.1 大会の成立には、1 レースを完了することが必要である。
- 17.2 成立したレースが 4 レース以下の場合、艇のシリーズ得点はレース得点の合計とする。5 レース以上成立した場合、艇のシリーズ得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 17.3 艇は、掲示された得点または、シリーズ成績に誤りがあると判断した場合、大会本部受付に準備された「得点照会フォーム」をレース委員会に提出することで、得点及び成績の訂正を要求することができる。

## 18 安全規定

- 18.1 **【SP】【NP】** 出艇申告及び帰着申告
- (a) 出艇及び帰着申告は、出艇帰着申告所においてタリー方式により行う。乗員は出艇の際に必ず、自艇の識別番号が記載されたタリーを受け取り、艇体に取り付け出艇すること。
  - (b) 出艇申告は、各日の最初のレースのスタート予告信号予定時刻の 30 分前まで受け付ける。その日の再出艇の場合は随時受け付ける。
  - (c) 帰着した艇は、速やかに帰着申告所にタリーを返却しなければならない。その日の最終レースにおける帰着申告締め切り時刻は、抗議締め切り時刻と同時刻とする。
  - (d) 出艇時、タリーは必ず艇のわかりやすい位置に取り付けること。海上でテクニカル委員会によるチェックを行うことがある。
- 18.2 **【SP】【NP】** レースからリタイアする艇は、すみやかにレース海面を離れ、可能であればできるだけ早くリタイアの意思を近くのレース委員会艇、プロテスト委員会艇、テクニカル委員会艇に伝えなければならない。また、帰着後速やかに『リタイア報告書』をレース委員会事務局へ提出しなければならない。
- 18.3 レース委員会又はプロテスト委員会は、艇が安全に帆走できないと判断した場合は、リタイアを勧告することができる。また、艇が緊急救助を必要とするような危険な状態と判断した場合は、強制的に救助活動を行うことがある。この場合、艇からの救済の要求は認められない。これは RRS 60.1(b)を変更している。

- 18.4 個人用浮具（ライフジャケット）については、RRS40.1 及び 40.2(b)を適用する。  
18.5 **【SP】【NP】** 艇は「添付図 D」に示すように、セールに識別番号を貼付すること。

## 19 **【DP】【NP】 乗員の交代と装備の交換**

- 19.1 全ての参加艇は、『第 1 レース乗員表』を、第 1 レース予告時刻の 60 分前までに出艇申告所横に設置してあるレース委員会受付に提出しなければならない。  
19.2 2 レース目以降に乗員を変更する場合は、その都度、出艇前にレース委員会に『乗員変更届』を提出しなければならない。海上で交替した場合は、予告信号前にシグナルポート（またはレース委員会艇）に伝えた後、帰着後に『乗員変更届』を提出しなければならない。  
19.3 事前に登録された艇の乗員以外の乗員の交替は、正当な理由（乗員の病気怪我等）とレース委員会の書面による事前承認がないかぎり許可されない。  
19.4 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会又はテクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に、その委員会に『装備交換申請書』を提出し、行うこと。

## 20 **【DP】【NP】 装備と計測のチェック**

艇または装備は、クラス規則、レース公示及び帆走指示書に適合しているか、いつでも検査されることがある。海上でレース委員会またはテクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに、指定されたエリアに向かうことを指示されることがある。

## 21 **運営艇**

運営艇の標識は、以下のとおりとする。

- ・レース委員会艇・・・・・・白色の旗
- ・プロテスト委員会艇・・・・・・白地に「P」の旗
- ・テクニカル委員会艇・・・・・・白地に「TN」の旗

## 22 **【DP】【NP】 支援艇**

- 22.1 チーム・リーダー、コーチその他の支援者は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、「添付図 E」に示す「艇がレースをしているエリア」の外側にいなければならない。  
22.2 支援艇は、ピンク旗の標識を付けなければならない。  
22.3 シグナルポートに音響信号 1 声とともに「V 旗」が掲揚された場合、SI 22.1 は適用されず、全ての支援艇は救助活動に従事しなければならない。この旗は、レース中であっても掲揚されることがある。これは RRS レース信号 V 旗及び RRS37 を変更している。  
22.4 支援艇はレース委員会艇・プロテスト委員会艇・テクニカル委員会艇の無線通話を傍受してはならない。

## 23 **ごみの処分**

ごみは、支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

## 24 **【DP】 無線通信**

緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

**25 リスク・ステートメント**

- 25.1 RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任はその艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
- 25.2 この大会の競技者は、自分自身の責任で参加する（RRS 3『レースをすることの決定』参照）。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない

「添付図 A」 レース海面



潮汐表 (油津)

日	曜日	潮	満潮				干潮			
			時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位
17	金	中	07:19	199cm	21:20	189cm	01:52	105cm	14:21	-3cm
18	土	中	08:10	191cm	22:10	182cm	02:43	107cm	15:12	11cm
19	日	中	09:05	180cm	23:01	175cm	03:38	106cm	16:03	29cm

「添付図 B」 コース見取り図及びコース・コード ( S = Start , F = Finish )

トラペゾイド アウターループ

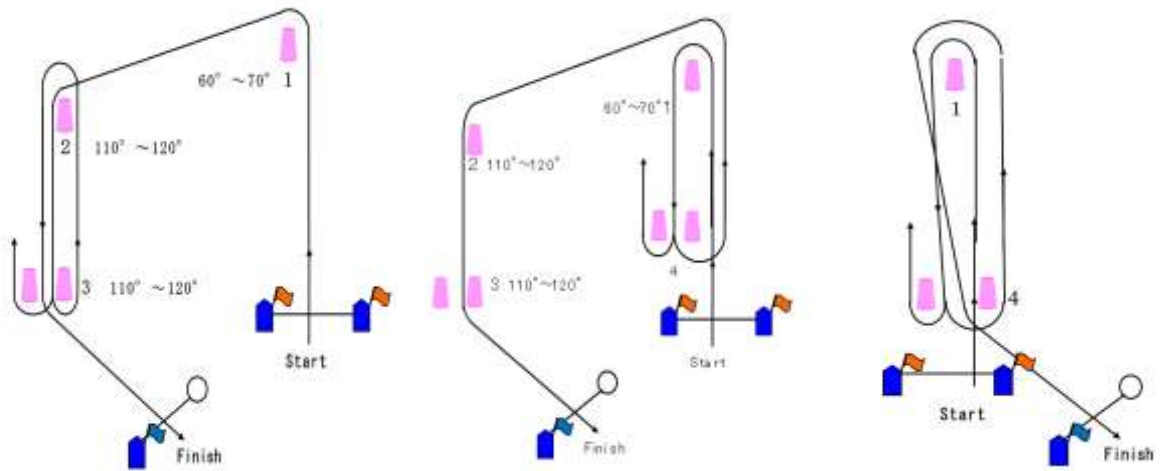
トラペゾイド インナーループ

ソーセージ

02 : S-1-2-3S/3P-2-3P-F

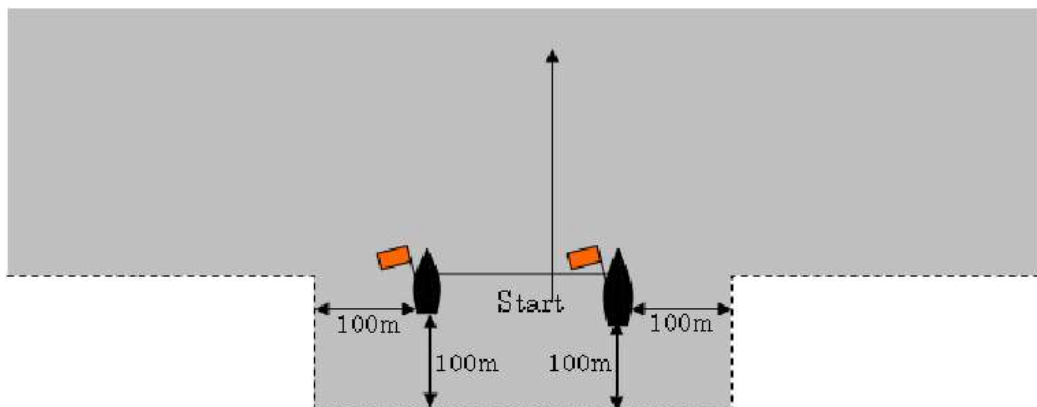
I2 : S-1-4S/4P-1-2-3P-F

LR2 : S-1-4S/P-1-4P-F



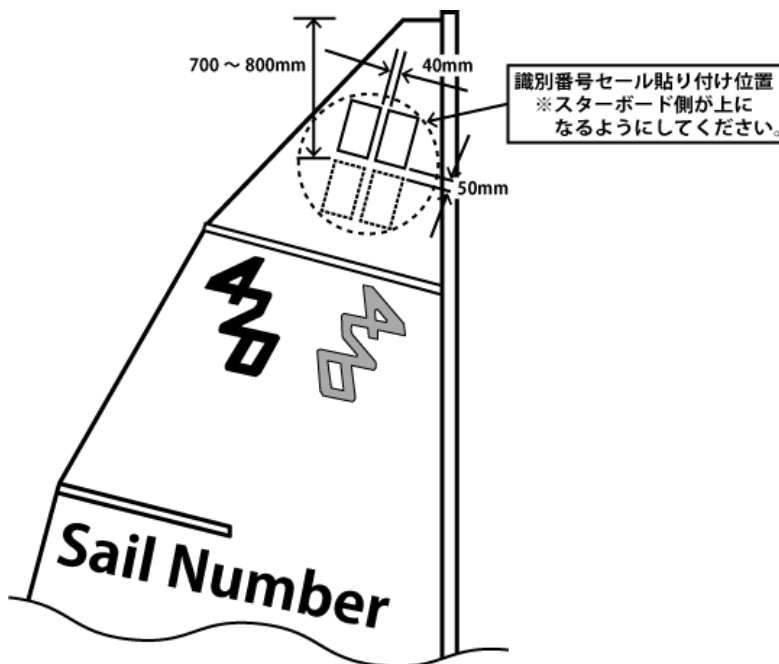
「添付図 C」 スタート・エリア

SI 11.2 に規定する「スタート・エリア」



「添付図 D」 識別番号貼付図

識別番号は男子黒色、女子赤色とする。全ての参加艇を連番とする。



※シングル・ハンダー級・FJ級についても準ずる位置に貼付すること。

「添付図 E」 艇がレースをしているエリア

(破線の内側を、「艇がレースをしているエリア」とする)

※ 全ての支援艇は、レース中、破線の内側に入ってはならない。

